

現代人権研究班

石山文彦
(研究班代表者)

現代人権研究班は、研究員が各自の役割分担にしたがって研究を進めるとともに、研究合宿においてその進捗状況を相互に報告し合うという方法で、研究班としての今年度の研究活動を行った。

また、研究合宿においては、特に木原正雄研究員から自治体の経済行政に関する研究報告を受け、従来必ずしも十分な分析のなされてこなかった少数者の人権との関係を中心に、自治体の経済行政の問題をテーマに集中的な討論を行った。

なお、2003年度および2004年度についても、研究員各自の研究活動をふまえ、研究合宿において特定テーマに関する報告と集中的討論を行うほか、各年度1名の研究員が法学研究所定例研究会において報告を行うという形で、研究班としての活動を行っていく方針である。